

【質問】 コミュニティ活性化補助金の目的と実態は。
答弁 滝山・前沢みんなの夏祭り等の開催に必要な電気設備等に対する補助金。28年度は27年度と同じ54万円を計上している。

【質問】 28年度に実施される臨時福祉給付金のスケジュールは決まっているのか。
答弁 年金生活者等支援臨時福祉給付金のうち高齢者向けの給付金については4月18日からの申請開始に向けて準備を進めている。その他の臨時福祉給付金については9月から申請開始を予定している。

【質問】 外国人への窓口対応に伴う言語の問題についてどう考えているのか。
答弁 様々な言語に対応できるよう研究・調査等を重ねていきたい。

【質問】 マイナンバー制度の情報セキュリティに係る費用について、今後も継続していくものなのか。
答弁 機器の賃貸および保守費用については29年度以降も継続していく。システム部分については28年度で改修が終わる見込み。

【質問】 28年度上の原地区へのアクセス道路整備事業はどのような形で進められるのか。完成時期はいつになるのか。
答弁 28年度はまず擁壁の工事を先行して行い、29年度も擁壁の工事を引き続き行いながら30年度での完成を目指したい。

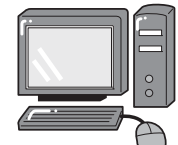
【質問】 成年後見制度推進機関委託について、事業の内容は。
答弁 判断能力が十分でない方が制度を利用して自立した地域生活が出来るよう、関係機関と連携を図りながら利用相談、啓発活動を実施している。主な事業としては保健業務に対する研修や相談連絡会、事例検討会、市民後見人の養成等を行っている。



東久留米市地域資源
マスコットキャラクター
湧水の妖精
るるゆめちゃん

平成28年度予算の主な継続・拡大事業

事業名	予算額
まち・ひと・しごと創生推進懇談会	52万8千円
社会保障・税番号制度導入に伴うシステム整備	7320万8千円
市民まつり活性化事業	174万円
東久留米ブランド認定事業	300万円
災害対策用備蓄品等の整備	2344万5千円
消防救急無線デジタル化	604万8千円
神山堂阪公園整備事業	7126万3千円
市道207号線整備事業	1億9654万円
上の原地区へのアクセス道路整備事業	3億2938万8千円
緊急輸送道路沿道建築物耐震化促進事業助成	3億7206万9千円
成年後見制度推進事業	971万4千円
妊婦健康診査事業	6445万1千円
小規模保育給付	1億6630万円
延長保育事業	2467万2千円
放課後子供教室	926万8千円
子どもの体力運動能力向上事業	150万円
雑木林の若返り促進事業	251万4千円



【質問】 今後の歳出削減の取り組みは。
市長 民間活力を導入する中で効率化や、コストの削減等、今後も継続して歳出削減努力を行っていきたい。

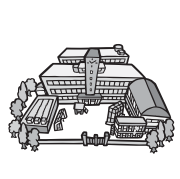
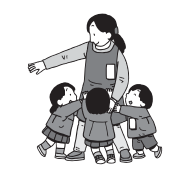
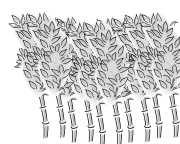
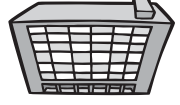
【質問】 予算について、市民の方々に分かりやすく説明できるような資料を今後作成する予定はあるのか。
答弁 財政資料については市民の方々に分かりやすい言葉を用いた解説の作成を考えている。今後試作品を評価いただきながら進めていきたい。

【質問】 保育園の待機児について、今後の解消計画は。
答弁 29年度末までに待機児の解消が図れるよう進めていきたい。

【質問】 神宝小学校の大規模改造工事について、具体的な改造内容と計画は。
答弁 外壁、内壁、トイレの改造ということで校舎全体を改造する。また、大規模改造工事においては児童・生徒が安心して教育を受けられる施設環境を確保するために、各学校の建築年次や改修の経過、老朽化の度合い等を総合的に勘案し、予算の範囲内で計画的に実施していきたい。

平成28年度予算の主な新規事業

事業名	予算額
公共施設等総合管理計画策定	313万2千円
CMS操作・アクセシビリティ研修	78万円
個人番号カード交付関連事務	1899万7千円
人づくり・人材確保支援事業	1億2431万8千円
空き家等対策事業	853万円
竹林公園整備事業	6062万5千円
市道203号線整備事業	1450万円
出水川開渠改修工事	1650万円
シルバーピア整備事業	200万4千円
元気高齢者地域活躍推進事業	537万9千円
私立保育園施設整備費補助	4億2175万円
保育士等キャリアアップ補助	3800万円
さいわい保育園引継業務	890万円
校舎棟大規模改造工事（神宝小学校）	2億4030万円
通学路防犯カメラ設置事業	616万円
緑の基本計画中間見直し事業	1112万8千円
家庭ごみの有料化	2552万6千円



予算案に対する各会派の意見表明・予算討論(要旨) 続

日本共産党

市民負担増・福祉削減予算に反対
来年度予算を考えるに当たり何よりも大切なことは、市民の暮らしを支え、守るものとなっているかという点である。市民の切実な願いに応えるものになっているかが問われる。しかし、並木市長の提案している予算は市民負担をさらに増やし、セーフティネットも削るものとなっておりとてい認めることはできない。これまでの政策を変更するべきや新規施策を打ち出し、行政として、市民の生活に支障をきたすことなく、市民の生活の向上に資する施策の実施、太陽光発電パネルの設置については検討。以上6点を要望したい。

一般予算については、市民の声を無視し一方的に決定してきたことから公立保育園全園を廃する「市実施計画」の中止のひとり親家庭住宅手当、障害者福祉手当、難病者福祉手当の削減の中止③家庭ごみ有料化実施計画の中止④東3・4・21号線の整備手法調査費の取り下げ⑤住宅耐震化助成の実施⑥市としての学力調査の中止、以上6点を求め、28年度一般予算案に反対する。

「ごみ対策課庁舎の建て替えに伴う2400万円の予算を削減し、財政調整基金

東久留米新市会

東久留米市会議員の意見表明・予算討論(要旨)
予算編成過程の公開なくして行革なし
わが市では予算編成過程が公開されていない。予算編成過程を透明化することには市民に対する説明責任を伴い、行政改革にもつながる。来年度の予算編成では検討していただきたい。一般会計予算案は、償還6600万円と過去最大規模となった。このまま予算規模が増大していけば、持続可能な市政ではない。行政改革による歳出削減をさらに進めるべき。財政健全化の明確な数値目標を設定し、それに向けた具体的な行動を起こす時である。平成30年には市域全体では待機児童が解消する見込

市議会市長

未来に責任ある決断を
28年度一般会計予算原案及び修正案、国民健康保険・後期高齢者医療・介護保険・下水道事業特別会計予算案について、賛成の立場から討論する。

予算特別委員会におけるごみ対策課庁舎の新築に向けた基本、実施設計委託の質疑では、大きな混乱を生じさせた。新築するが仮庁舎を買い取るのかという方針が定まらない状況に陥ったことは予算提案者である市長として責任を自覚するべきである。

「ごみ対策課庁舎の建て替えは、長年の懸念課題であったが、現業職員の退職者不補充やごみ収集業務の民間委託など状況は変化している。予算修正案は、市の方針を整理する必要性を指摘し、予算原案から削除するという極めて重要な内容

市民

新たな市民負担増に反対する
一般会計予算案は、経常的業務を執行するものであり、基本的には反対すべきでないと考えますが、市長の政治姿勢、公立保育園の民営化、家庭ごみ有料化について異論があり反対する。

一つ目に、産業廃棄物処理基本計画の告示行為が失念されていたことである。陳謝・減俸により市長は責任をとったが、深く反省を求める。

二つ目に、上の原地区へのアクセス道路整備に不安を持つ市民、さいわい保育園民営化に反対する市民のよう、意見の異なる市民や会派にどう向き合つか

市議会市長

理念なき市政運営にNO!!
28年度一般会計予算案には「ごみ対策課庁舎建て替えに伴う基本、実施設計委託2400万円を計上する一方、仮設庁舎買い取りを示唆する市長答弁が繰り返された。予算提案者として矛盾する答弁を撤回しないのなら、同項目予算を削除した新たな予算案を提出すべきである。

予算は、市長の施政方針を具現化したものであり、施政方針に基づき事業を進めている職員を翻弄した市長の責任は重い。市長は、組織の最高責任者として、部下が自信と安心感を持つて市民福祉向上のため尽力する意欲を引き出し、何があっても最終責任をとる姿勢を示す役割がある。

さいわい保育園民設民営化引継業務委託に関し、公募要項記載金額以上の価格



上の原に今春新設された特別養護老人ホームみどりの丘